

インターネット回答用	
申請者ID	第1回策定検討委員会
パスワード	資料9

国分寺市高齢者保健福祉計画・第9期国分寺市介護保険事業計画

高齢者福祉に関するアンケート(案)

(介護保険事業者調査)

ご あ い さ つ

日頃より国分寺市の高齢者保健福祉事業及び介護保険事業にご理解を賜り厚くお礼申し上げます。
このたび国分寺市では、令和5年度末に策定する「国分寺市高齢者保健福祉計画・第9期国分寺市介護保険事業計画」に活用するため、アンケート調査を実施することといたしました。
調査結果は、地域の課題に対応したサービスの提供や事業の目標設定に活用させていただきます。
お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただきご協力をお願いいたします。
なお、調査結果はすべて無記名で統計処理するため、率直なご意見をお聞かせくださいますようお願い申し上げます。

国分寺市長 井澤 邦夫

令和5年2月28日（火）までに回答をお願いします。

ご 記 入 に 際 し て の お 願 い

- 1 全ての回答は管理者の方がご記入ください。また、回答は一部の設問を除き令和5年1月1日現在での状況をご記入ください。
- 2 以下の事業種別欄に記載されたサービスについてご記入ください。
- 3 回答は郵送又はインターネットで送付してください。
郵送の場合は、記入した調査票を同封の返信用封筒に入れて令和5年2月28日（火）までにポストに投函してください。
インターネットでの回答については次のページをご覧ください。
- 4 回答にあたっては質問をよくお読みいただき、あてはまる番号を選んで○印をつけてください。
- 5 「その他（ ）」を選んだ場合は、（ ）内にその内容を具体的にご記入ください。
- 6 職員の人数については、「兼務」「専従」をあわせた数でご記入ください。
- 7 全ての事業種別で共通の様式を使用しておりますので、事業種別によっては設問・選択肢がそぐわない場合がございます。ご記入いただける範囲でご協力をお願いします。

●本調査票は、次の事業についてご記入ください

事業種別	
------	--

インターネットでの回答について

- 1 右の二次元コードを読み取るか、以下のアドレスから回答ページにアクセスします。
アドレス <https://www.～>
- 2 1 ページの右上に印刷されている、申請者IDとパスワードを入力してください。
- 3 回答を入力し、**令和5年2月28日（火）までに**送信してください。

二次元
コード

※通信料は御負担いただきますようお願いいたします。

【問合せ先】

国分寺市 福祉部 高齢福祉課 計画・事業推進係

電話：042-321-1301 FAX：042-320-1180

※（土）（日）（祝）を除く午前8時30分から午後5時まで

1 貴事業所の概要

問1 次の(1)～(5)について教えてください

(1) 法人格の種類	1 社会福祉法人 2 特定非営利活動法人（NPO法人） 3 株式会社 4 有限会社 5 医療法人 6 生活協同組合 7 その他 （ ）		
(2) 貴事業所の所在地	1 国分寺市内 2 国分寺市外		
(3) 職員体制		正 規 職 員	正 規 職 員 以 外
	常勤労働者	人	人
	短時間労働者	人	人
	登録ヘルパー （訪問介護事業所のみ）	人	人
	ここでは、以下のとおり分類します。 ・常勤労働者：事業所の定める所定労働時間をすべて勤務する方 ・短時間労働者：1日の所定労働時間又は1週間の労働日数が、常勤労働者より少ない方（登録ヘルパーを除く） ・登録ヘルパー：働くことができる時間を事業所に登録しておき、本人の都合の良い時だけ勤務する方（訪問介護事業所のみ） ・正規職員以外：「派遣・契約・臨時・パートタイム」職員等の方		
(4) 正規職員の勤務年数	1 年未満 （ 人） 1～3 年未満 （ 人） 3 年以上 （ 人） ※（ 人）の数字の合計が(3)の正規職員の合計となるようにご記入ください。		
(5) 定期健康診断の実施状況（労働安全衛生法規定）	常勤労働者	1 実施している	2 実施していない
	短時間労働者	1 実施している	2 実施していない
	登録ヘルパー （訪問介護事業所のみ）	1 実施している	2 実施していない

問2 令和3年度（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）中に採用した人数，離職した人数を教えてください

	正 規 職 員		正 規 職 員 以 外	
	採用	離職	採用	離職
常勤労働者	人	人	人	人
短時間労働者	人	人	人	人

2 利用者の人権の尊重について

問3 貴事業所において、利用者の意思や尊厳の尊重、事業所内での虐待防止等、利用者の人権を擁護するために講じている取組にはどのようなものがありますか
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--|---|
| 1 認知症、高齢者虐待防止等に関する研修を実施したり、外部研修へ参加をしている | |
| 2 他事業所と情報交換等の交流をしている | |
| 3 人員配置上の工夫をしている（夜勤体制の強化等） | |
| 4 事業所内外の多職種（医師やケアマネジャー等）間の連携を高めている | |
| 5 規則等の再検討や、業務内容（一斉介助や流れ作業等）の見直しを行っている | |
| 6 トラブルが発生したとき、利用者及び家族が最初に連絡できる職員を明確にしている | |
| 7 虐待防止等に関して事業所全体の方針を設定し、管理者の責任を明確にしている | |
| 8 虐待防止委員会等や相談窓口を設置し、担当者等を決めている | |
| 9 苦情対応等の対応状況に関する点検評価を外部から受ける仕組みを導入している | |
| 10 家族等にサービスの内容を知らせている | |
| 11 事業所の情報公表を進めている（福祉サービス第三者評価等の利用） | |
| 12 その他（ | ） |
| 13 特にない | |

3 事故防止、感染予防の取組について

問4 サービス提供を通して利用者の身に起こり得る「事故（例：転倒・誤嚥等）」について、貴事業所で事故防止や、事故を最小限に止めるために講じている取組にはどのようなものがありますか
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1 事故防止マニュアルの作成 | 6 救急車の呼び方マニュアルの作成 |
| 2 事故防止研修の実施 | 7 応急処置技能研修の実施 |
| 3 事故防止ミーティングの実施 | 8 その他（ |
| 4 ヒヤリ・ハット報告の徹底 | 9 特にない |
| 5 事故発生時の対応マニュアルの作成 | |

問5 サービス提供を通して利用者の身に起こり得る「感染症の伝播」（職員から利用者、利用者から利用者、来訪者等の部外者から利用者）について、貴事業所で講じている予防策にはどのようなものがありますか（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|------------------------|---------------------|
| 1 感染症予防マニュアルの作成 | 6 職員への手洗い・うがい・消毒の奨励 |
| 2 職員への感染症の正しい知識の提供 | 7 職員への予防接種の実施 |
| 3 職員への利用者の感染状況に関わる情報提供 | 8 入浴順を工夫する等の個別対応 |
| 4 職員への手袋や被服等の貸与 | 9 その他（ |
| 5 安全衛生ミーティング | 10 特にない |

問6 今後起こり得る「大規模災害（例：地震・台風等）」について、貴事業所で被害を最小限に止めるために講じている取組にはどのようなものがありますか（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|-------------------------------|-----------------|
| 1 避難計画・方針の策定 | 5 自治会等の地域組織との連携 |
| 2 避難訓練の実施 | 6 その他（ |
| 3 食料品等の備蓄 | 7 特にない |
| 4 災害発生時のサービス提供再開に向けたマニュアル等の作成 | |

4 利用者からの苦情・相談内容とその対応について

問7 利用者やその家族から、どのような苦情や相談が多いですか（3つまで選択可）

1 サービスの質	4 説明・情報の不足	7 利用者の金銭的な負担
2 従事者の態度	5 契約・手続関係	8 その他（ ）
3 管理者等の対応	6 具体的な被害・損害	9 特になし

問8 苦情や相談の対応体制について、それぞれ1つずつ選んで○をつけてください

(1) 苦情相談窓口	1 ある	2 ない
(2) 担当者の配置	1 ある	2 ない
(3) 苦情相談マニュアル	1 ある	2 ない
(4) 苦情相談記録簿	1 ある	2 ない
(5) 職員間で共通認識を持つ機会	1 ある	2 ない
(6) 職員間で具体的な対応策について検討	1 ある	2 ない
(7) その他（ある場合のみ記入）	〔 〕	

5 サービスの質の向上に向けた課題について

問9 貴事業所で課題となっているものはどれですか（あてはまるものすべてに○）

【経営面】		13 制度改正に対応した利用者への説明
1 事業所の経営理念の明確化		14 利用者にわかりやすい契約書の工夫
2 提供するサービスの量的拡大		15 利用者のプライバシー保護・個人情報管理の徹底
3 提供するサービスエリアの拡大		
【人材面】		16 サービス担当者会議への積極的な参加
4 人材の確保		17 苦情処理対応の充実
5 従業員の労働条件の改善		【連携】
6 従業員への経営理念の周知徹底		18 家族等介護者とのつながり
7 OJT（人材育成・教育）の充実		19 福祉系事業者との連携
8 外部研修への積極的な派遣		20 医療系事業者との連携
9 障害者サービスへの対応・研修		21 医療機関との連携
【サービスの質】		22 地域包括支援センターとの連携
10 各種マニュアルの作成		23 ボランティアの受入れ，連携
11 サービスの自己評価の取組		24 その他（ ）
12 利用者にとって有益な情報開示の推進		25 課題はない

問10 ボランティアを受け入れる場合、どんなことを担ってみたいですか（あてはまるものすべてに○）

1 配膳、下膳、お茶出し	7 裁縫
2 散歩、屋内移動の補助	8 洗濯物の整理
3 事業所内の清掃	9 庭の手入れ等の補助
4 利用者の話し相手	10 イベントボランティア （落語、手品、演奏等）
5 趣味の相手	11 その他（ ）
6 レクリエーション等の補助	

6 報酬改定や処遇改善等の影響について

※職員に対する処遇全般の設問になりますので、訪問看護等、人員配置基準上、介護職員のいないサービスを提供されている事業所もご回答ください。

問11 令和3年4月以降の介護職員の処遇改善の取組状況について、それぞれ1つずつ選んで○をつけてください

(1) 基本給のアップ	1 実施済み	2 実施予定	3 予定なし
(2) 基本給以外で、賞与のアップ	1 実施済み	2 実施予定	3 予定なし
(3) 基本給以外で、資格等の手当のアップ	1 実施済み	2 実施予定	3 予定なし
(4) 福利厚生（保険・住宅等）の充実	1 実施済み	2 実施予定	3 予定なし
(5) 教育・研修の充実	1 実施済み	2 実施予定	3 予定なし
(6) 職員配置の拡充	1 実施済み	2 実施予定	3 予定なし
(7) その他（ ）	1 実施済み	2 実施予定	

問12 介護職員の処遇改善を行う上で、どのような課題があると考えますか
(あてはまるものすべてに○)

1 介護報酬処遇改善加算はあっても、職員の処遇改善にまでは回らない 2 事業の安定運営が最優先で、職員の処遇改善にまでは回らない 3 介護職員の処遇改善をしても、人材確保や定着率向上に結びつかない 4 今後の制度改正や介護報酬改定を見据えると、給与体系まで手がつけられない 5 その他（ ） 6 特に課題はない
--

問13 令和4年中（令和4年1月～12月）の収入額は、前年に比べてどうなりましたか

1 大きく増えた（2割増以上） 2 増えた（1割増以上2割増未満） 3 少し増えた（1割増未満） 4 ほぼ変わらない	5 少し減った（1割減未満） 6 減った（1割減以上2割減未満） 7 大きく減った（2割減以上）
---	--

問13-1 収入額が増減した理由を教えてください（あてはまるものすべてに○）

1 利用者数の増減 2 利用者一人当たりの利用単価の増減 3 提供サービスの拡大・縮小	4 加算の取得 5 その他（ ）
---	---------------------

7 人材の確保について

問14 貴事業所で行っている職員の早期離職の防止や定着促進に向けた取組にはどのようなものがありますか（あてはまるものすべてに○）

1 賃金・労働時間等の労働条件を改善する	7 キャリアの見通しを持って安定して働き続けられるようにする
2 労働時間の希望を聞く	8 研修等，人材育成を充実させる
3 仕事内容の希望を聞く	9 福利厚生を充実させる
4 職場（事務室など）の環境を整える	10 ICTや介護ロボット等の先進的な介護機器の導入による業務改善を行う
5 職場内の交流を深め，コミュニケーションの円滑化を図る	11 その他（ ）
6 ストレスチェックの導入等，職員のストレス対策を行う	12 特に行っていない

問15 貴事業所で行っている人材確保に向けた取組にはどのようなものがありますか（あてはまるものすべてに○）

1 教育機関との連携を深める
2 貴事業所（又は法人）で資格取得講座を開講し，修了者から採用する
3 就職希望者の情報がより早く得られるように職員や知人に声かけをする
4 貴事業所（又は法人）の存在を周知させるために定期的な広告をする
5 採用時に賃金・労働条件を他社に比べよくする
6 採用時に労働日数・時間の希望を出来るだけ聞き入れる
7 無資格者を採用し，採用後に資格取得講座を受講させる
8 上位資格の取得にあたって受講料補助等の支援をする
9 外国人材を登用する
10 その他（ ）
11 特に行っていない

次の「8 第三者評価の受審状況について」は，以下のいずれかのサービスを提供している事業者のみ回答してください。

・ 居宅介護支援	・ 特定施設入居者生活介護	・ 地域密着型通所介護
・ 訪問介護	・ 福祉用具貸与	・ 認知症対応型通所介護
・ 訪問入浴介護	・ 介護老人福祉施設	・ 小規模多機能型居宅介護
・ 訪問看護	・ 介護老人保健施設	・ 認知症対応型共同生活介護
・ 通所介護	・ 定期巡回・随時対応型訪問	・ 看護小規模多機能型居宅介護
・ 短期入所生活介護	・ 介護看護	

上記以外の事業者は，「9 ご意見・ご要望について」へお進みください。

8 第三者評価の受審状況について

- ・この設問は一部のサービス提供事業者（前のページを参照）のみ回答してください。
- ・それ以外の事業者は回答不要です。「9 ご意見・ご要望について」へお進みください。

問16 「東京都福祉サービス評価推進機構」が認証した「第三者評価機関」による「福祉サービス第三者評価」を受けていますか。また、受けるお考えはありますか

- | | |
|-------------------|------------------------|
| 1 年1回受審している | 3 受審していないが、検討している |
| 2 定期的ではないが、受審している | 4 受審していないし、今後受審する予定もない |

問16-1 どのような支援があれば受審できると思いますか（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|-----------------------|---|
| 1 受審費用の助成 | |
| 2 評価機関についての情報提供 | |
| 3 受審手続きの簡素化 | |
| 4 その他（ | ） |
| 5 どんな支援があっても受審しない（理由： | ） |

9 ご意見・ご要望について

問17 介護保険制度や保険者（国分寺市）に対してのご意見・ご要望等，ご自由にご記入ください

<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>

アンケートは以上で終了です。ご協力ありがとうございました。

回答の終わったアンケート調査票は、同封の返信用封筒に入れて2月28日（火）までにポストに投函してください。（切手は不要です）